



## ラオス・カムアン州

# 大型プロジェクトで 国と住民の双方に恩恵

世界銀行ラオス・カントリーマネジャー 三輪桂子

**WATCH FIRE**

【開発途上国の明日】



最終回

ラオスの「ナムトゥン2水力発電ダム」は、電力の輸出によって、貧困削減と環境保全を促進するプロジェクトだ。25年間で20億ドルの歳入をラオス政府にもたらす。1080メガワットを発電し、10000メガワットをタイに輸出、80メガワットを国内で使う。ナムトゥンダムは大型インフラが国家への便益をもたらすだけでなく、直接影響を受ける人々の生活も改善している。

ダム建設に伴い移住した約6300人の村人の生活レベルが移住前より改善されるよう、家、土地、学校、保健所などが整備された。写真は移転先の村の様子である。移住した人の約90%が、生活レベルがよくなったと答えている。長期にわたって生活が安定するように、農業、畜産業、漁業などでの支援が続く。

ダムの流域に当たる、約4000平方キロのナカイナムトゥン保全地域は生物多様性が豊かで、プロジェクトから今後31年にわたって毎年100万ドルが自然保護や、村人の生活改善に使われる。多額の歳入を効率的かつ透明度高く運用できるように、政府の公共財政管理制度を強化する支援も世界銀行は行っている。

5年間の建設期間を経て今年4月にナムトゥン2水力発電ダムは運転を開始した。これからの住民の生計改善や自然保護に対する支援は、長期にわたり続く。

